

## 令和2年度 修了式 式辞

令和2年度が終わります。休校から始まり、分散登校、夏の大会をはじめ各種大会、旅行行事の中止、規模を縮小しての体育祭や合唱コンクール、皆さんにとって、どんな1年間になりましたか。

私には、「SCRAP&BUILD」の一年間でした。

「これでいいのか」「本当に必要なのか」、

「誰から見ても納得のできることは」（「俯瞰ですね」とたくさんの事を考え、多少不安でも「よし、やってみよう」と挑戦の一年間でした。

先生方だけでなく、生徒の皆さんにも沢山助けられました。特に「挑戦」の部分では皆さんに感謝です。本当によく頑張ってくれました。

2年生の総合学習の「多様性」をテーマにした研究と発表は、私の想像をはるかに超え本当に素晴らしいものでした。今まさに、世の中から求められている学習の姿であり、これからの久寺家中学校学びの原点を見せてくれました。

3年生を送る会では新しい発表の形を1年生も2年生も見せてくれました。出来上がりも素晴らしかったですが、それ以上に、自分たちで考えながら仲間と取り組む姿が何より私はうれしかったです。

時間がもっとあれば、さらに素晴らしいものに仕上げられるようで、これからは楽しみになりました。生徒会のみんなが作ってくれた久寺家中学校の紹介ビデオも、根戸小学校・並木小学校の先生方から大好評でした。

このように新しい挑戦が次の新しい挑戦につながっていきます。

「苦手だ」「できない」と弱気な先生方も皆さんの頑張りに背中を押され、今日この後の今年度末に久寺家中学校を去られる先生方の御挨拶はズームを使って映像配信で行います。

世の中だけでなく、久寺家中学校も少しずつ変わり始めました。これは皆さんが持っているエネルギーのおかげです。今まで通りにこだわることなく、令和3年度も色々な事に挑戦していきましょう。

学んだことをフルに活用して、色々な事にチャレンジしていきましょう。

気になること、興味があることを徹底的に調べ、追及していきましょう。

そこには、また新しい発見があり、学びがあります。そのように自分を磨いていく令和3年度になることを期待します。皆さんにとっては色々我慢の令和2年度でしたが、令和2年度を新しい発見の年として、ステップアップのための土台となった年として、4月から一緒に進んでいきましょう。

新1年生を迎え、皆さんと一緒に過ごす4月からを楽しみにしています。

令和3年度3月24日

我孫子市立久寺家中学校 校長 稲村 光 男